

農作業事故防止

農作業安全チェック

～乗用型トラクター～

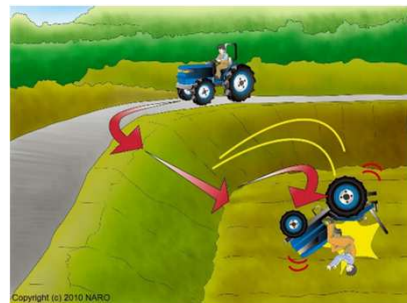
事件事例

①農道からの転落事故（軽傷）

【概要】 緩い下り坂で直角のカーブを左折時、ブレーキを踏んだところ、急旋回し水田に転落した。

【考えられる原因】

- ①ブレーキペダルが連結されていなかった
- ②危険個所の確認・目印設置ができていなかった



軽傷で済んだ理由：シートベルトをしていたので投げ出されておらず、安全フレームを立てていたため、完全に下敷きにならずに済んだ。

②ほ場作業中の転倒事故（死亡）

【概要】 畑の際を耕していたところ、操作を誤って進行方向左側の斜面へ横転し、法面の下の藪でトラクターの下敷きになった。

【考えられる原因】

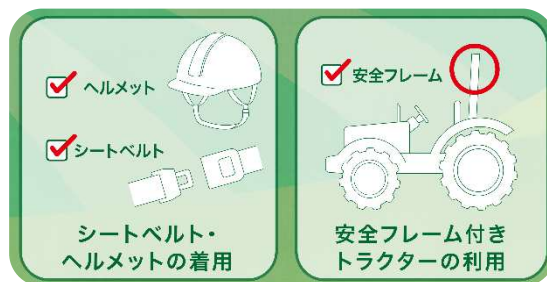
- ①安全フレームが装備されていなかったため、トラクターの下敷きとなってしまった
- ②畑と藪の境をしっかりと把握できていなかった

注意事項



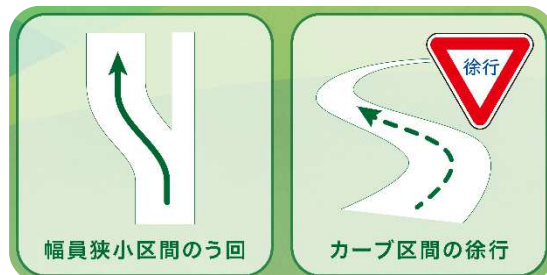
安全装備はしっかりしてますか？

- トラクターに乗る時はヘルメット・シートベルトを装着しましょう。
- トラクターは安全フレーム（もしくは安全キャブ）が装着されたものを使用しましょう。安全フレームは折りたたまず、しっかり立てた状態で走行しましょう。



危険個所の確認はしていますか？

- 現場で転落・転倒の可能性のある危険箇所を確認し、目印をつけたり、草を刈って見やすくするなどの対策を実施しましょう。また、狭い道は迂回するか、幅員を確保してください。
- 道路走行時はブレーキペダルを連結し、特にカーブのある道は徐行運転を心がけましょう。



農作業事故防止

農作業安全チェック ～コンバイン～

事故事例

① 農道からの転落事故（死亡）

【概要】 狭い道からほ場に入ろうとした際、草で覆われた路肩を踏み外して約1.5m転落し、コンバインの下敷きとなってしまった。

【考えられる原因】

- ① 道の幅員がしっかり確保されていなかった
- ② 危険個所の視界確保や確認・目印設置ができていなかった



② 補助作業者を轢いてしまった事故（死亡）

【概要】 2人で稲刈り中、運転者がコンバインをバックさせた際に、後ろで作業していた作業者をコンバインで轢いてしまった。

【考えられる原因】

- ① コンバインを動かす前に作業者同士で意思疎通ができていなかった
- ② 作業者がコンバインに近づきすぎていた

注意事項



意思疎通はしっかりしていますか？

- コンバインは**死角の多い農機**です。
動かす際は、**補助作業車のいる位置を確認**し、声をかける等、**しっかりと意思疎通**してから動かしましょう。



危険個所の確認はしていますか？

- 現場で転落・転倒の可能性のある**危険箇所を確認**し、目印をつけたり、草を刈って見やすくするなどの対策を実施しましょう。
また、**狭い道は迂回するか、幅員を確保**してください。

更に

点検・清掃時や手こぎ作業時も注意！

- 詰まってしまった際は「エンジンを停止」させてから点検・清掃してください。
- 手こぎ作業は手袋や軍手、巻き込まれやすいタオルなどは外した「**適切な服装**」で行い、「**手を突っ込まない**」ことを心がけてください。